No.1　横須賀市立武山中学校

学校だより

【学校教育目標】
ゆたかな心を　育てる学校
「学力　文化　コミュニケーション」

令和3年4月9日
発行　校長　佐藤昌俊

全校生徒 488 名での新たな年度の始まりです。

４月５日(月)の午後、少し肌寒い日となりましたが、160 名の新入生を迎え、入学式を執り行いました。(右の写真はその数日前の校門のところの花壇と桜です。入学式当日は葉桜となっていましたが、花壇の花は春いっぱいでした。)昨年度は新型コロナウィルス感染症の感染拡大により、テレビ放送による入学式で異例の形で行われましたが、本年度は規模縮小の制限はあったものの、新入生と保護者、そして職員等が一堂に会して、体育館で式を行うことができました。新入生を目の前にしてお祝いのメッセージを送り、新たな中学校生活に胸躍らせている子どもたちの真剣で、意欲にあふれた姿を直接感じ取れたこと、とてもうれしく思いました。新入生全員が私の方を向き、目と心でしっかりと話しを聞いている姿は中学生そのものでした。新入生代表の生徒からは「不安も楽しみながら一歩一歩確実に中学生として頑張っていけるよう努力してまいります。」と力強いメッセージをもらいました。ここからの３年間、新入生一人一人が武山中学校の生徒でよかったと、大きく成長することができたと思ってもらえるようにしなければと、責任の重さを心にとめた瞬間でした。一方、私からは始業式に２，３年生にもお話したことを伝えました。以下がその概要です。

本年度の本校の学校教育目標は、引き続き「ゆたかな心を　育てる学校」です。「ゆたかな心」と聞いて、皆さんはどんな心をイメージしますか。辞書でしらべると、その意味の一つとして、「ゆたか」は「心の満ち足りているようす」と書かれています。

この「ゆたかな心」を育むには、皆さんが、学校生活の中で、学習を通して、部活動・生徒会活動、そして行事を通して、さらには日常の人との関わりを通して、自分自身の成長を実感できることが大切です。そして、自分で自分の成長点を具体的に語れることが大切です。わからなかったことがわかるようになった。なかなかできなかったプレーや演奏ができるようになった。難しいかなと思っていた行事を成功させることができた。苦手な人とも上手にコミュニケーションがとれるようになった。自分の長所がつかめ、それを伸ばせるようになったなど。皆さんの成長点は無限大にあります。

人はその積み重ねにより、心がゆたかになり、大人へと成長するのだと思います。それでは、このような成長を実現するにはどうしたらよいか。その内の一つとして、昨年度の中で2，3年生に「ジャンプの成長」の話をしました。人はなだらかに成長することもありますが、ある人との出会い、ある体験、節目の時など、何かの機会に大きく成長する「ジャンプの成長」があると思っています。本日もその節目の一つ、皆さんが新たな中学校生活に向けた今の思いを大切にして、4 月をスタートしてください。皆さんの大きな成長につながると思います。

本年度もまだまだ新型コロナウィルス感染症を踏まえた学校運営をしていかなければならないようです。感染防止につとめながらも、子どもたち一人一人の健やかな成長を実現できるよう、教職員が一つになって教育に邁進してまいります。

保護者の皆さまにおかれましては引き続き、学校の教育活動にご理解、ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。本年度も月１回程度「学校だより」を発行いたします。つたない内容や文章で恐縮ですが、お読みいただければ幸いです。なお、「学校だより」は本校のホームページにも掲載しますので、生徒の氏名や個人が特定できる写真掲載はしないよう配慮してまいります。